



## 新鮮な気持ちで学んでいます

福岡県教育センターにおける長期派遣研修では、プロジェクト研修や自主研修など様々な研修が行われています。今回は、その中から調査・視察研修についてご紹介します。調査・視察研修は、プロジェクト研修の課題解決のために、先進校や先進地域での調査・視察を行うことで、教職としての素養や実践力を育成することを目的としています。今回は複数回行った調査・視察研修の中から、2つの学校の取組についてご紹介します。

## 「学び合い」で自律的学習者の育成を

福岡市立東光中学校では、授業視察後、学校で行っている『学び合い』の取組について説明を聞きました。そこで、東光中式『学び合い』の理念にある、授業においてだれ一人取り残さないことや、子どもたちは有能であるという視点をもつことが支援の在り方のヒントになると感じました。

学校説明では、校長先生から学校の取組や研究主任の先生から研究構想についての話を聞くことができました。その中で、これからの社会に対応していくためには、「例年通り」を見直していくことや「新たなことにも挑戦する」ことが必要だと感じました。



## 全職員が笑顔になる校内研修の視察 「対話をベースにした校内研修」より

古賀市立小野小学校は研修時の持ち物が「筆記用具、パソコン、おやつ、飲み物」、研修の始まりには全員で「アイスブレイク」。これを読んでのような研修を想像されますか。

校内研修に参加していた職員は、生き生きと主体的に研修へ臨んでいました。そんな校内研修のメインは全職員による「対話」で、研修員も参加させていただきました。役職や経験年数に関係なく、全職員が積極的に対話に取り組んでいました。この研修では、対話の効果を2点実感することができました。1点目は、対話を通して職員全体の所属感が高まり、職員間に安心感を生んでいること、2点目は今まで考えていなかった物事を深く考え、知見を広げるきっかけになっていたことです。小野小学校では、あらゆる場面で対話を取り入れた研修が計画されていました。ここで見た校内研修の姿は、教師の研修観を大きく転換するものの一つでした。全ての職員が笑顔になる研修を実現するヒントは、職員同士のコミュニケーションの機会を意図的、計画的に生み出すことにあるのだと感じました。

持ち物：①筆記用具②Chromebook  
③おやつ④飲み物  
※③④はお忘れなく!!!

小野小学校 第3回主題研修用資料より抜粋



## プロジェクト研修 C チームの紹介

C チームは中学校籍2名、小学校籍2名の個性豊かな4人組です。チーム会議では、お互いの学校の課題解決のため、異校種の視点からの気づきも大切にして活発に意見を交流しています。Cチームの強みは、安心して発言できることです。



※次号は、プロジェクト研修 D チームが担当します。